

電話



電話について	3-2	滞在国の一般電話／携帯電話にかける	3-14
音声電話	3-3	オプションサービス	3-15
音声電話をかける	3-3	オプションサービスを利用する	3-15
国際電話をかける	3-4	便利な機能	3-17
音声電話を受ける	3-4	音声電話／TVコールの発信に関する機能	3-17
通話中に相手の声を録音する	3-4	国際電話の発信に関する機能	3-17
簡易留守録を利用する	3-4	音声電話／TVコールの着信に関する機能	3-17
録音／録画されたメッセージを再生する	3-5	音声電話／TVコールの通話に関する機能	3-18
TVコール	3-8	簡易留守録に関する機能	3-19
TVコール画面について	3-8	通話情報の確認に関する機能	3-20
TVコールをかける	3-8	スピードダイヤルに関する機能	3-20
TVコールを受ける	3-9	オプションサービスに関する機能	3-21
通話情報の確認	3-11		
履歴を利用して電話をかける	3-11		
通話時間／料金を確認する	3-12		
スピードダイヤル	3-13		
少ないボタン操作で電話をかける	3-13		
ともでんから電話をかける	3-13		
海外での利用（世界対応ケータイ）	3-14		
滞在国から滞在国以外に電話をかける	3-14		

3



電話について

本機では、音声電話とTVコールを利用できます。

3 電話

音声電話

他社の携帯電話や
一般電話を使用している方
ともお話しできます

転送電話や留守番電話など、
便利なオプションサービスが利用可能



ソフトバンク 他社携帯電話
携帯電話 一般電話

TVコール

音声に映像をプラスして
お話しできます

TVコール対応の電話機のみ



ソフトバンク 他社携帯電話
携帯電話 一般電話

海外との通話

国際電話

音声電話／TVコールを
かけたり、受けることが
できます。

- ・お申し込み不要で、国際電話サービスをご利用いただけます。

海外での利用

世界対応 ケータイ

本機は世界対応ケータイに対応して
います。お使いの電話番号をそのまま
海外で利用できます。
(別途お申し込みが必要)

- ・世界対応ケータイのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ(<http://www.softbank.jp>)をご覧ください。

緊急通報(110、119、118)発信について

ソフトバンク携帯電話(3G)から緊急通報を行うと、お客様が発信した際の位置情報を緊急通報受理機関(警察など)へ通知します。このシステムを「緊急通報位置通知」といい、受信している基地局測位情報をもとに算出した位置情報を通知します。なお、GPS測位による位置情報は通知できません。

- お申し込み料金、通料は一切かかりません。
- お客様の発信場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されないことがあります。必ず口頭で、緊急通報受理機関へお客様の発信場所や目的をお伝えください。
- 「184」を付けて発信するなど、発信者番号を非通知にして緊急通報を行ったときは、位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると判断したときは、緊急通報受理機関がお客様の位置情報を取得することがあります。
- 国際ローミングを使用しているときは、緊急通報位置通知は利用できません。

下記の発信に制限のある機能を利用している場合でも、緊急通報の利用が可能です。

- ・ 指定発信制限 (P.2-25)
- ・ キー操作ロック (P.4-5)
- ・ 通話料金上限設定 (P.14-20)
- ・ 電波OFFモード (P.4-8)
- ・ PIN1コード入力設定 (P.4-2)



音声電話をかける

① 相手の電話番号をダイヤル



電話番号入力画面

■ 番号を挿入する場合

→ で挿入したい位置を選択 → 番号を入力

■ 番号を削除する場合

→ で削除したい番号を選択 → **CLEAR** を長押し（1秒以上）すると、選択した番号より左側の番号がすべて削除されます。

■ 番号をすべて入力し直す場合

→

②



音声通話中画面

③ 通話が終了したら

注意

- 通話中に **0**～**9**、*****、**#** を押すと、相手側の受話口で「ピツ」と音が鳴ることがありますのでご注意ください。

補足

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 「ツーツー」という話中音が聞こえる場合は、相手が話中です。
- 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合は、相手の携帯電話、PHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。

- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合は、電話番号を通知しておかけ直してください。
- 音声通話中は照明設定（P.14-8）の設定にかかわらず、バックライト消灯後無操作で約2分経過するとディスプレイが消灯し省電力状態になります。省電力中の操作はディスプレイ点灯時と同じです。
- 通話中に本機を閉じると通話を終了します。ステレオイヤホンマイクなどを接続している場合には、閉じた状態でも通話を行うことができます。

音声通話中に利用するボタン

受話音量調節	（長押し） または /
通話保留	



国際電話をかける

お申し込み不要で、国際電話サービスをご利用いただけます。

- 1 相手の電話番号をダイヤル ⇒ ⇒ 「国際電話発信」 ⇒ ●
- 2 国番号を選択 ⇒ ● ⇒ 国際プレフィックスを選択 ⇒ ● ⇒
- 3 通話が終了したら

音声電話を受ける

- 1 音声電話がかかってきたら
- 2 通話が終了したら

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に (長押し)

受話口から「ピッ」と音が鳴り、相手の声の録音が始まります。

録音が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴り、録音が終了すると「ビッピッ」と音が鳴ります。

●を押すか を長押し (1秒以上) すると録音を途中で終了することができます。

簡易留守録を利用する

音声電話／TVコールに出られないときに、かけてきた相手の用件を本機に録音／録画します。

簡易留守録を設定する

- 1 ⇒ 「設定」 ⇒ ● ⇒ 「着信」 ⇒ ● ⇒ 「簡易留守録」 ⇒ ●
- 2 「ON」 ⇒ ● ⇒ 応答メッセージの種類を選択 ⇒ ●
- 3 呼出時間を入力

補足

- 留守番電話サービスや転送電話サービスを同時に設定している場合は、留守番電話サービスや転送電話サービスの呼出時間よりも簡易留守録の呼出時間を短く設定してください。
- 待受画面で を長押し (1秒以上) しても簡易留守録を設定／解除することができません。
- 簡易留守録は、電源を切っている時、電波の届かない状態、電波OFFモードの時は使用できません。
このときは留守番電話サービスをご利用ください。留守番電話サービスについては、P.3-16を参照してください。



●簡易留守録の設定中に電話がかかってきたとき

設定した呼出時間が経過すると簡易留守録が起動します。相手に応答メッセージを流したあと、相手のメッセージの録音／録画を開始します。

メッセージの録音／録画が終了すると待受画面に戻り、デスクトップアイコンと録音件数を示すアイコンが表示されます。



■録音／録画中に電話に出る場合



一時的に簡易留守録で応答する

簡易留守録を設定していなくても、かかってきた電話に簡易留守録で応答することができます。

① 着信中に [CLEAR] / [📞]

簡易留守録の録音／録画が開始されません。

注意

- 録音／録画件数がいっぱいの場合、簡易留守録は起動しません。

補足

- 着信中に [#] を押しても簡易留守録で応答することができます。[#] で応答した場合は、マナーモードに設定されます。

録音／録画されたメッセージを再生する

① ●⇒デスクトップアイコン
([📞] / [📞]) を選択⇒●

音声メモの再生／消去画面

メッセージが録音されている項目には「★」がつきます。

② 再生するメッセージを選択⇒●

補足

- 再生中のメッセージを消去する場合は、以下のように操作します。
メッセージ再生中に [📞] ⇨ 「消去」
⇨ ●⇨ [YES] ⇨ ●

録音メッセージの再生中に利用
するボタン

1つ前のメモの再生	
停止	/ CLEAR
相手に音声電話をかける	
相手にTVコールをかける	

補足

- 待受画面で **CLEAR** を押しても録音メッセージを再生できます。また、録音メッセージがなく、音声メモが登録されている場合、音声メモが再生されます。
- メニュー操作でメッセージを再生するには、以下のように操作します。

MENU ⇨ 「ツール」 ⇨ ⇨ 「音声メモの再生/消去」 ⇨

録画メッセージの再生中に利用
するボタン

前後のメモの再生	
音量調節	または
一時停止/再開	
停止	CLEAR
相手に音声電話をかける	
相手にTVコールをかける	

補足

- メニュー操作でメッセージを再生するには、以下のように操作します。
- MENU** ⇨ 「ツール」 ⇨ ⇨ 「動画メモの再生/消去」 ⇨

もっと使いこなそう

便利な機能

音声電話の発信に関する機能

- 発信者番号の通知/非通知を設定する
- 市外局番や国番号（プレフィックス番号）をつける

▶ P.3-17

国際電話の発信に関する機能

- 「+」を利用して国際電話をかける

▶ P.3-17

音声電話の着信に関する機能

- かかってきた電話を拒否する
- かかってきた電話を保留にする（応答保留）
- かかってきた電話を転送する
- かかってきた電話を留守番電話センターへ転送する

▶ P.3-17

音声電話の通話に関する機能

- ハンズフリーで通話する
- 通話機（本機/Bluetooth®機器）を切り替える
- 相手の声を明瞭にする（ハイパークリアボイス）
- プッシュ信号を送信する

▶ P.3-18



簡易留守録に関する機能

- 録音されたメッセージを消去する
(▶ P.3-19)

設定

発信に関する設定

- 市外局番や国番号をプレフィックス番号として登録する
- プッシュ信号として送るダイヤルデータを登録する
- 「*」以降をサブアドレスとして認識するように設定する
(▶ P.14-18)

画面表示に関する設定

- 電話の発信時に表示する画像を設定する
- 電話の着信時に表示する画像／動画を設定する
(▶ P.14-5)

国際電話の発信に関する設定

- 自動変換する国際アクセス番号を変更する
- 国番号を変更する
- 国際アクセス番号を設定する
(▶ P.14-18)

着信時の動作に関する設定

- 着信音量を調節する
- 着信音を設定する
- メロディのランダム再生を着信音に設定する

- 着信を振動で知らせる
- 着信イルミネーションの点滅色を設定する
- 着信イルミネーションの点滅パターンを設定する
- 不在着信があるときに着信イルミネーションが点滅するように設定する
- 着信画像を設定する
- 着信時に電話帳に登録した画像を表示する
(▶ P.14-12)

着信時の応答に関する設定

- ダイヤルボタンで電話に出られるように設定する
- ダイヤルボタンで着信音を止められるように設定する
(▶ P.14-13)

通話に関する設定

- 通話を再接続したときにアラームが鳴るように設定する
- 周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする
- 通話が切れそうなときにアラームで知らせる
- 相手の声の明瞭さを設定する
- 音声通話中に自動的に録音する
- 通話中の着信イルミネーションの点滅色を設定する
- 応答保留中に流れるガイダンスを設定する

- 本機を折り畳んだときに音が消えるように設定する
- 本機を折り畳んだときに通話を終了する
(▶ P.14-19)

音に関する設定

- 着信音や応答メッセージとして設定できる音声を録音する
- 録音した音声を再生する
- 録音した音声を消去する
(▶ P.14-16)

イヤホンマイク接続時の動作に関する設定

- イヤホンマイク接続時に音が出る場所を設定する
- イヤホンマイク接続時に使うマイクを設定する
- イヤホンマイク接続時に自動で電話を受ける
- イヤホンマイクで電話をかけるときの電話番号を設定する
(▶ P.14-16)

ボタンイルミネーションに関する設定

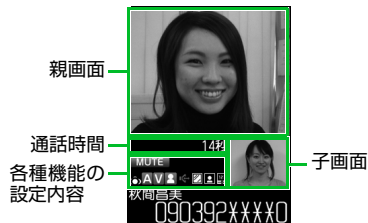
- 発着信時のイルミネーションを設定する
- 通話開始時のイルミネーションを設定する
(▶ P.14-41)



TVコール画面について

TVコール画面は以下の内容で構成されています。
各種機能の設定内容はアイコンで表示されます。

3
電話



各種機能の設定内容を示すアイコン

	ハイパークリアボイス (強/弱)
	音声送受信中/送受信失敗
	映像送受信中/送受信失敗
	カメラ映像/代替画像送信中
	ハンズフリー ON/ OFF
	ミュート中 (消音中)
	ビジュアルチェック中
	撮影モード (人物/風景/接写)

TVコールをかける

1 相手の電話番号をダイヤル



電話番号入力画面

■番号を挿入する場合

⇒で挿入したい位置を選択 ⇒番号を入力

■番号を削除する場合

⇒で削除したい番号を選択 ⇒ (CLEAR)を長押し (1秒以上) すると、選択した番号より左側の番号がすべて削除されます。

■番号をすべて入力し直す場合

⇒

2



TVコール中画面

3 通話が終了したら

注意

- 通話中に0～9、*、#を押すと、相手側の受話口で「ピッ」と音が鳴ることがありますのでご注意ください。

補足

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 緊急通報番号 (110番、119番、118番) へTVコールをかけたときは、自動的に音声電話に切り替わります。
- TVコールがかからなかった場合は、接続できなかった理由が表示されます。



- 充電中に、カメラを使用したTVコールが行われた場合、テレビの録画が同時に行われるなどの本機の使用状況や温度状態によっては、自動的に充電が停止したり、カメラ映像が代替画像に切り替わることがあります。
- TVコール中に本機を閉じると通話を終了します。ステレオイヤホンマイクなどを接続している場合には、閉じた状態で通話することができます。

TVコール中に利用するボタン

受話音量調節	(長押し) または /
通話保留	
親画面／子画面の表示切り替え	(長押し) <ul style="list-style-type: none"> • 押すたびに、「相手側のカメラ映像」→「自分側の画像」→「相手側のカメラ映像のみ」→「自分側の画像のみ」の順に切り替わります。
送信するカメラ映像の切り替え	(長押し) <ul style="list-style-type: none"> • 押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

送信するカメラ映像の拡大／縮小	
音声のミュート(消音)	または (長押し) <ul style="list-style-type: none"> • もう一度押すと、解除されます。

TVコールを受ける

- 1 TVコールがかかってきたら
- 2 通話が終了したら

もっと使いこなそう

便利な機能

TVコールの発信に関する機能

- 発信者番号の通知／非通知を設定する
- 市外局番や国番号（プレフィックス番号）をつける

▶ P.3-17

TVコールの着信に関する機能

- かかってきた電話を拒否する
- かかってきた電話を保留にする（応答保留）
- かかってきた電話を転送する

▶ P.3-17

TVコール中に利用できる機能

- ハンズフリーで通話する
- 通話機（本機／Bluetooth® 機器）を切り替える
- 相手の声を明瞭にする（ハイパークリアボイス）
- 映像の画質を設定する
- 画像の明るさを調整する
- 画像の色合いを切り替える
- 画像の色調を切り替える
- 撮影モードを切り替える
- バックライトの点灯方法を設定する

▶ P.3-18

**設定**

発信に関する設定

- 市外局番や国番号をプレフィックス番号として登録する
- 「*」以降をサブアドレスとして認識するように設定する

(▶ P.14-18)

画面表示に関する設定

- 電話の発信時に表示する画像を設定する

(▶ P.14-5)

着信時の動作に関する設定

- 着信音量を調節する
- 着信音を設定する
- メロディのランダム再生を着信音に設定する
- 着信を振動で知らせる
- 着信イルミネーションの点滅色を設定する
- 着信イルミネーションの点滅パターンを設定する
- 不在着信があるときに着信イルミネーションが点滅するように設定する
- 着信画像を設定する
- 着信時に電話帳に登録した画像を表示する

(▶ P.14-12)

着信時の応答に関する設定

- ダイヤルボタンで電話に出られるように設定する
- ダイヤルボタンで着信音を止められるように設定する

(▶ P.14-13)

通話に関する設定

- 通話を再接続したときにアラームが鳴るように設定する
- 周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする
- 通話が切れそうなときにアラームで知らせる
- 相手の声の明瞭さを設定する
- 通話中の着信イルミネーションの点滅色を設定する
- 応答保留中に流れるガイダンスを設定する
- 本機を折り畳んだときに音が消えるように設定する
- 本機を折り畳んだときに通話を終了する

(▶ P.14-19)

イヤホンマイク接続時の動作に関する設定

- イヤホンマイク接続時に音が出る場所を設定する
- イヤホンマイク接続時に使うマイクを設定する

- イヤホンマイク接続時に自動で電話を受ける
- イヤホンマイクで電話をかけるときの電話番号を設定する

(▶ P.14-16)

TVコールに関する設定

- TVコール中に送信する画像を設定する
- TVコールに接続できなかったとき音声電話に切り替えて発信するように設定する
- 親画面に表示する映像を設定する
- 内側カメラの映像を左右反転する
- TVコール中は自動的にハンズフリーになるように設定する

(▶ P.14-21)

ボタンイルミネーションに関する設定

- 発着信時のイルミネーションを設定する
- 通話開始時のイルミネーションを設定する

(▶ P.14-41)



履歴を利用して電話をかける

発着信した相手の電話番号、日時の情報が履歴として保存されるので、過去に発着信した相手にかかけ直すことができます。

履歴画面のアイコンについて

リダイヤル、発信履歴、着信履歴の画面には、履歴の種類を示すアイコンが表示されます。

	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
	TVコールの発着信／不在着信／未確認不在着信
	国際TVコールの発着信／不在着信／未確認不在着信
	音声簡易留守録に音声録音されているもの／TVコール簡易留守録に用件録音されているもの
	パケット通信の発信

	「自動時刻時差補正」の設定にかかわらず、タイムゾーンが「GMT+9」以外のときの発着信
--	---

リダイヤル／着信履歴から電話をかける

1

リダイヤル	
1	7/ 1 9:45
2	秋間昌美
3	6/28 20:21
4	北川力夫
5	6/27 11:56
6	中山太郎
7	6/26 21:13
8	090392****7
9	6/25 10:32
10	小沢英輔
11	6/20 19:56
12	090392****6

リダイヤル画面

着信履歴	
1	7/ 1 12:58
2	北川力夫
3	6/28 22:06
4	090392****6
5	6/27 7:12
6	090392****7
7	6/18 20:47
8	090392****8
9	6/15 14:26
10	小沢英輔
11	6/11 8:53
12	秋間昌美

着信履歴画面

2 リダイヤル／着信履歴を選択



リダイヤル／着信履歴を選択し●を押すと、リダイヤル／着信履歴の詳細を確認することができます。

発信履歴から電話をかける

1 ⇒ 「ユーザーデータ」 ⇒ ⇒ 「発信履歴」 ⇒

発信履歴	
1	7/ 1 9:45
2	秋間昌美
3	6/28 20:21
4	北川力夫
5	6/27 11:56
6	中山太郎
7	6/26 21:13
8	090392****7
9	6/25 10:32
10	小沢英輔
11	6/20 19:56
12	090392****6

発信履歴画面

2 発信履歴を選択 ⇒

発信履歴を選択し●を押すと、発信履歴の詳細を確認することができます。

不在着信の件数を確認する

1 ⇒ 「ユーザーデータ」 ⇒ ⇒ 「着信履歴」 ⇒

全着信の件数、不在着信の件数、不在着信のうち未確認の件数が表示されます。

2 「全着信」／「不在着信」 ⇒



●不在着信があるとき

着信イルミネーションが点滅します。
「不在／新着確認設定」を「ボイス」に設定しているときに、本機を閉じたまま を押すと、相手の名前などを音声で確認することができます。
ディスプレイに表示される「不在着信あり」のアイコンを選択して内容を確認するか、アイコンを選択して **CLEAR** を長押し（1秒以上）すると、着信イルミネーションは消灯します。

通話時間／料金を確認する

前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

ご契約の内容によっては、通話料金表示の機能が利用できないことがあります。このときは、限度額設定も利用できません。

- ① ⇒ 「設定」 ⇒ ⇒ 「時間／料金」 ⇒ ⇒ 「通話時間／料金」 ⇒

補足

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、ご契約の内容によっては、通話料金表示機能をご利用にならない場合があります。なお、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 前回および積算の通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。

🔄 もっと使いこなそう

便利な機能

リダイヤル／発信履歴／着信履歴で利用できる機能

- 履歴の名前の文字サイズを切り替える
- 不在着信履歴の呼出時間を表示する
- 履歴を削除する

▶ P.3-20

通話時間／料金の確認で利用できる機能

- 積算通話時間をリセットする
- 積算通話料金をリセットする

▶ P.3-20

設定

着信時の動作に関する設定

- 不在着信があるときに着信イルミネーションが点滅するように設定する
- ▶ P.14-13

通話情報の確認に関する設定

- を押したときの不在着信を電子音で通知する
- を押したときの不在着信を声で通知する
- 履歴画面の名前／電話番号／メールアドレスの文字色を変更する

▶ P.14-15

通話料金に関する設定

- 積算通話料金の自動リセットを設定する
- 通話料金の上限を設定する

▶ P.14-20

ボタンイルミネーションに関する設定

- 不在着信があるときのイルミネーションを設定する

▶ P.14-42



少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号「000」～「009」に登録している電話帳には、**0**～**9**と**☎**を押すだけで電話をかけることができます。

- 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話がかかります。

1 **0**～**9**⇒**☎**／**☎**

ともでんから電話をかける

よく使う電話帳をともでんに登録すると、電話番号やメールアドレスが探しやすくなります。

- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳をともでんに登録することはできません。

ともでんに登録する

1 **☎**



ともでん画面

2 **☎**で登録するタブを選択
⇒**☎**⇒電話帳を検索⇒目的の
電話帳を選択⇒**☎**

3 登録する電話番号／メールアドレス
を選択⇒**☎**

チェックボックスが選択状態になっていると、他の電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

4 **☎**

ともでんから電話をかける／S!メールを送信する

1 **☎**

2 **☎**で相手を選択⇒「電話する」／
「メールする」／「TVコールする」⇒**☎**

もっと使いこなそう

便利な機能

スピードダイヤルに関する機能

- ともでんの電話帳を解除する
- ともでんの画像を変更する
- ともでんの登録メンバー全員にS!メールを送信する

(▶ P.3-20)



海外での利用（世界対応ケータイ）

3 電話

日本で使用している本機の電話番号をそのまま海外でご利用いただけます。

- 世界対応ケータイのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) をご覧いただくか、お問い合わせ先（P.15-57）までご連絡ください。
- 世界対応ケータイを利用するには別途ご契約が必要です。

滞在国から滞在国以外に電話をかける

① （長押し）
「+」が入力されます。

② 国番号、地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号をダイヤル ⇨

補足

- ・イタリアの一般電話にかける場合には、電話番号の先頭の「0」を付けてください。

滞在国の一般電話／携帯電話にかける

国番号を入力したり、相手の地域番号（市外局番）の先頭の「0」を省く必要はありません。

① 電話番号を全桁ダイヤル ⇨

もっと使いこなそう

設定

世界対応ケータイに関する設定

- 接続する通信事業者を設定する
- 通信事業者を再検索する
- 優先的に接続する通信事業者を設定する
- ネットワークを切り替える
- 世界対応ケータイ利用中の通信事業者名を表示する

▶ P.14-22



オプションサービスを利用する

本機では以下のオプションサービスが利用できます。

転送電話サービス	かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。
留守番電話サービス	電話に出ることのできなかったときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりすることができます。電源が入っていない、あるいは圏外にいたために受けられなかった着信をSMSでお知らせすることもできます(着信お知らせ機能)。
割込通話サービス※	今まで話していた相手を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。通話相手の切り替えもできます。
グループ通話サービス※	通話中に別の相手に電話をかけて複数の相手と通話ができます。

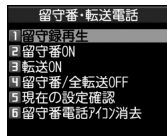
発信規制サービス	電話やSMSの発信や着信を制限するかを選択することができます。
発信者番号通知サービス	自分の電話番号を相手に通知するかどうかを選択することができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービスを開始する

〈例〉「呼出あり」で転送電話サービスを設定する

- 1 ⇒ 「設定」 ⇒ ⇒ 「通話サービス」 ⇒ ⇒ 「留守番・転送電話」 ⇒



留守番・転送電話画面

- 2 「転送ON」 ⇒ ⇒ 「YES」
⇒ ⇒ 「音声 / TVコール」 / 「音声」 / 「TVコール」 ⇒ ▶

▶ 電話番号を直接入力する場合
電話番号を入力 ⇒

▶ 電話帳から電話番号を入力する場合
 ⇒ 電話帳を検索 ⇒ 電話帳を選択
⇒ ⇒ 電話番号を選択 ⇒ (2回)

3 「呼出あり」 ⇒ ⇒ 呼び出し時間を選択 ⇒

着信音を鳴らさずに転送先に転送する場合は、「呼出なし」を選択し を押し

補足

- 転送電話サービス設定中に着信があったときは、 を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」で設定しているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。
- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に設定することはできません。ただし、転送電話サービスの「TVコール」と留守番電話サービスは同時に設定できます。
- すでに留守番電話サービスが設定されているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。



留守番電話サービスを開始する

〈例〉「呼出あり」で留守番電話サービスを設定する

①【留守番・転送電話画面】で「留守番ON」⇒●⇒「YES」⇒●

②「呼出あり」⇒●⇒呼び出し時間を選択⇒●

着信音を鳴らさずに留守番電話センターに転送する場合は、「呼出なし」を選択し●を押します。

補足

- 留守番電話サービス設定中に着信があったときは、を押すと、そのまま通話できます。「呼出なし」で設定しているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。
- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に設定することはできません。ただし、転送電話サービスの「TVコール」と留守番電話サービスは同時に設定できます。
- すでに転送電話サービスが設定されているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

●着信お知らせ機能

留守番電話サービスの設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信を、SMSでお知らせします。

①

音声ガイダンスに従って設定してください。

●伝言メッセージを聞く

①【留守番・転送電話画面】で「留守録再生」⇒●⇒「YES」⇒●

転送電話／留守番電話サービスを停止する

①【留守番・転送電話画面】で「留守番／全転送OFF」⇒●⇒「YES」⇒●

もっと使いこなそう

便利な機能

転送電話／留守番電話で利用できる機能

- 待受画面に表示されている「留守番電話あり」のアイコンを消去する

- 転送電話／留守番電話サービスの設定状況を確認する

▶ P.3-21

割込通話サービスで利用できる機能

- 割込通話サービスを設定する
- 通話中にかかってきた電話を受ける
- 割込通話サービスの設定状況を確認する

▶ P.3-21

グループ通話サービスで利用できる機能

- 通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかける
- 相手を切り替えながら通話する
- 複数の相手と同時に通話する
- 特定の相手と通話する
- 特定の相手との通話を切断する

▶ P.3-21

発着信規制サービスで利用できる機能

- 電話／SMSの発着信を規制する
- 電話／SMSの発着信規制を停止する
- 発着信規制用暗証番号を変更する
- 発着信規制サービスの設定状況を確認する

▶ P.3-22

発信者番号通知サービスで利用できる機能

- 電話番号の通知／非通知を事前に設定する
- 発信者番号通知サービスの設定状況を確認する

▶ P.3-23



音声電話／TVコールの発信に関する機能

開始画面はここから

【電話番号入力画面】.....P.3-3

発信者番号の通知／非通知を設定する

【電話番号入力画面】 ⇨ ⇨ 「発信者番号通知」 ⇨ ⇨ 「通知しない」／「通知する」／「設定消去」⇨ ⇨ ／

電話番号の前に「186」／「184」をダイヤルしても発信者番号の通知／非通知を設定できます。「186」をつけると発信者番号を通知します。「184」をつけると発信者番号を通知しません。

電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴の詳細画面から発信者番号通知を設定することもできます。

市外局番や国番号（プレフィックス番号）をつける

【電話番号入力画面】 ⇨ ⇨ 「プレフィックス」⇨ ⇨ 目的の項目を選択⇨ ⇨ ／

市外局番や国番号をあらかじめ登録しておき、発信時に簡単に付加することができます。

電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴の詳細画面からプレフィックス番号をつけることもできます。

お買い上げ時には、プレフィックス番号として「国際発信」「184」「186」が登録されています。

国際電話の発信に関する機能

「+」を利用して国際電話をかける

(長押し) ⇨ 国番号をダイヤル⇨ 地域番号（市外局番）をダイヤル⇨ 相手の電話番号をダイヤル⇨ ⇨ 「発信」⇨

を長押し（1秒以上）すると「+」が入力され、「自動変換機能設定」で設定した国際アクセス番号に置き換わります。

音声電話／TVコールの着信に関する機能

音声電話／TVコールの着信時に利用できる機能

かかってきた電話を拒否する

電話がかかってきたら ⇨ 「着信拒否」⇨



かかってきた電話を保留にする（応答保留）

電話がかかってきたら ⇒ 電話に出られるようになったら

保留中の電話をそのまま切るときは、 を押します。

かかってきた電話を転送する

電話がかかってきたら ⇒ 「着信転送」
⇒ ●

「留守番・転送電話」で転送電話を開始しているときに、動作します。

音声電話の着信時に利用できる機能

かかってきた電話を留守番電話センターへ転送する

電話がかかってきたら ⇒ 「着信転送」
⇒ ●

「留守番・転送電話」で留守番電話を開始しているときに、動作します。

音声電話／TVコールの通話に関する機能

開始画面はここから

【音声通話中画面】 P.3-3
【TVコール中画面】 P.3-8

音声通話中／TVコール中に利用できる機能

ハンズフリーで通話する

【音声通話中画面】／【TVコール中画面】
⇒

再度 を押すと、ハンズフリーを解除できます。

通話機（本機／Bluetooth® 機器）を切り替える

【音声通話中画面】／【TVコール中画面】
⇒ ⇒ 「通話機切替」 ⇒ ●

相手の声を明瞭にする（ハイパークリアボイス）

【音声通話中画面】／【TVコール中画面】

⇒ を押すごとに （強め）／
 Off（OFF）／（ふつう）と切り替わります。

ハンズフリーが「ON」の場合や、ステレオイヤホンマイクなどの外部機器に接続している場合は利用できません。

音声通話中に利用できる機能

ブッシュ信号を送信する

【音声通話中画面】 ⇒ （2回） ⇒ 「設定」
⇒ ● ⇒ 「発信」 ⇒ ● ⇒ 「ポーズダイヤル」 ⇒ ●（3回）

- ダイヤルデータをまとめて送信する場合
⇒ ●（長押し） ⇒ 「一括送出」 ⇒ ●
- を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送信されます。
- ブッシュ信号はあらかじめ登録しておいてください（P.14-18）。



TVコール中に利用できる機能

映像の画質を設定する

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「TVコール設定」 ⇨ ● ⇨ 「画質設定」 ⇨ ● ⇨ 画質を選択 ⇨ ●

画像の明るさを調整する

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「TVコール設定」 ⇨ ● ⇨ 「明るさ調節」 ⇨ ● ⇨ レベルを選択 ⇨ ●

カメラ映像の場合のみ利用できます。

画像の色合いを切り替える

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「TVコール設定」 ⇨ ● ⇨ 「ホワイトバランス設定」 ⇨ ● ⇨ 色合いを選択 ⇨ ●

カメラ映像の場合のみ利用できます。

画像の色調を切り替える

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「TVコール設定」 ⇨ ● ⇨ 「色調切替」 ⇨ ● ⇨ 色調を選択 ⇨ ●

カメラ映像の場合のみ利用できます。

撮影モードを切り替える

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「TVコール設定」 ⇨ ● ⇨ 「撮影モード選択」 ⇨ ● ⇨ 撮影モードを選択 ⇨ ●

外側カメラ映像の場合のみ利用できます。

バックライトの点灯方法を設定する

【TVコール中画面】 ⇨ [F] ⇨ 「照明設定」 ⇨ ● ⇨ 「常時点灯」 / 「通常時の設定と同じ」 ⇨ ●

簡易留守録に関する機能

開始画面はここから

【音声メモの再生／消去画面】P.3-5

録音されたメッセージを消去する

【音声メモの再生／消去画面】 ⇨ 消去するメッセージを選択 ⇨ [F] ⇨ 「1件消去」 / 「簡易留守録全消去」 / 「全消去」 ⇨ ● ⇨ 「YES」 ⇨ ●

「全消去」を選択すると、音声メモも消去されます。



通話情報の確認に関する機能

開始画面はここから

【リダイヤル画面】P.3-11
【発信履歴画面】P.3-11
【着信履歴画面】P.3-11

リダイヤル/発信履歴/着信履歴で利用できる機能

履歴の名前の文字サイズを切り替える

【リダイヤル画面】 / 【発信履歴画面】 / 【着信履歴画面】 ⇒ ⇒ 「表示設定」 ⇒ ● ⇒ 「標準表示」 / 「拡大表示」 ⇒ ●

不在着信履歴の呼出時間を表示する

【着信履歴画面】 ⇒ ⇒ 「呼出時間表示」 ⇒ ●

履歴を削除する

【リダイヤル画面】 / 【発信履歴画面】 / 【着信履歴画面】 ⇒ ⇒ 「削除」 ⇒ ●

- 1件削除の場合
⇒ 「1件削除」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●
- 選択削除の場合
⇒ 「選択削除」 ⇒ ● ⇒ 削除する履歴を選択 ⇒ ● ⇒ ⇒ 「YES」 ⇒ ●
- 全削除の場合
⇒ 「全削除」 ⇒ ● ⇒ 端末暗証番号を入力 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●

リダイヤル画面/発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。

通話時間/料金の確認で利用できる機能

積算通話時間をリセットする

⇒ 「設定」 ⇒ ● ⇒ 「時間/料金」 ⇒ ● ⇒ 「積算リセット」 ⇒ ● ⇒ 端末暗証番号を入力 ⇒ ● ⇒ 「積算時間リセット」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●

積算通話料金をリセットする

⇒ 「設定」 ⇒ ● ⇒ 「時間/料金」 ⇒ ● ⇒ 「積算リセット」 ⇒ ● ⇒ 端末暗証番号を入力 ⇒ ● ⇒ 「積算料金リセット」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ● ⇒ PIN2コードを入力 ⇒ ●

スピードダイヤルに関する機能

開始画面はここから

【ともでん画面】P.3-13
----------	-------------

ともでんの電話帳を解除する

【ともでん画面】 ⇒ で目的のタブを表示 ⇒

- 1件解除の場合
⇒ 「1件解除」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●
- 全解除の場合
⇒ 「全解除」 ⇒ ● ⇒ 端末暗証番号を入力 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●



ともでんの画像を変更する

【ともでん画面】⇒⇒目的のタブを表示⇒⇒「画像変更」⇒⇒フォルダを選択⇒⇒目的の画像を選択⇒

ともでんの登録メンバー全員にS!メールを送信する

【ともでん画面】⇒⇒「S!メール斉送信」⇒⇒S!メールを作成⇒

オプションサービスに関する機能

開始画面はここから

【留守番・転送電話画面】.....P.3-15
【音声通話中画面】.....P.3-3

転送電話／留守番電話で利用できる機能

待受画面に表示されている「留守番電話あり」のアイコンを消去する

【留守番・転送電話画面】⇒「留守番電話アイコン消去」⇒⇒「YES」⇒

転送電話／留守番電話サービスの設定状況を確認する

【留守番・転送電話画面】⇒「現在の設定確認」⇒

割込通話サービスで利用できる機能

割込通話サービスを設定する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「割込通話」⇒⇒「ON」／「OFF」⇒⇒「YES」⇒

通話中にかかってきた電話を受ける

【音声通話中画面】⇒割り込み音が聞こえたらを押す。 を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

割込通話サービスの設定状況を確認する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「割込通話」⇒⇒「現在の設定確認」⇒

グループ通話サービスで利用できる機能

通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかける

【音声通話中画面】⇒電話番号を入力⇒

電話帳から電話をかける場合は、／を押して電話帳を検索し、目的の電話番号を選択してを押します。

リダイヤル／着信履歴から電話をかける場合は、／を押して電話番号／名前を選択し、を押します。

相手を切り替えながら通話する

【音声通話中画面】⇒

を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

複数の相手と同時に通話する

【音声通話中画面】⇒切り替え通話中に⇒「すべてと通話」⇒



特定の相手と通話する

【音声通話中画面】⇒同時通話中に ⇒「通話相手を選択」⇒⇒通話する相手を選択⇒

選択した相手以外の通話は保留となります。

特定の相手との通話を切断する

【音声通話中画面】⇒同時通話中に ⇒「切断相手を選択」⇒⇒切断する相手を選択⇒

発着信規制サービスで利用できる機能

電話／SMSの発着信を規制する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「発着信規制」⇒⇒「発信規制」／「着信規制」⇒⇒規制項目を選択⇒⇒「YES」⇒⇒発着信規制用暗証番号を入力⇒

発着信規制を設定しても、緊急通報番号（110番、119番、118番）へは電話をかけることができます。

発着信規制サービスの「全発信規制」または「全着信規制」を設定中は、転送電話サービスをご利用になれません。（転送電話サービスが設定されている場合は、発着信規制サービスは設定されません。）

発着信規制用暗証番号を3回連続して間違えると、発着信規制サービスを設定できなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（P.15-57）までご連絡ください。

電話／SMSの発着信規制を停止する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「発着信規制」⇒⇒「規制全停止」⇒⇒「YES」⇒⇒発着信規制用暗証番号を入力⇒

発着信規制用暗証番号を変更する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「発着信規制」⇒⇒「規制暗証番号」⇒⇒「YES」⇒⇒現在の発着信規制用暗証番号を入力⇒⇒新しい発着信規制用暗証番号を入力⇒⇒もう一度新しい発着信規制用暗証番号を入力⇒

発着信規制サービスの設定状況を確認する

⇒「設定」⇒⇒「通話サービス」⇒⇒「発着信規制」⇒⇒「現在の設定確認」⇒⇒目的の規制項目を選択⇒



発信者番号通知サービスで利用できる機能

電話番号の通知／非通知を事前に設定する

☰ ⇒ 「設定」 ⇒ ● ⇒ 「通話サービス」 ⇒ ● ⇒ 「発信者番号通知」 ⇒ ● ⇒ 「発信者番号通知設定」 ⇒ ● ⇒ 「通知する」／「通知しない」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●

発信者番号通知サービスの設定状況を確認する

☰ ⇒ 「設定」 ⇒ ● ⇒ 「通話サービス」 ⇒ ● ⇒ 「発信者番号通知」 ⇒ ● ⇒ 「現在の設定確認」 ⇒ ●

